

事務事業調書の見方

H23 の事業名称

第 5 次鯖江市総合計画における体系

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	I T講習推進事業	事業コード	159
-----	-----------	-------	-----

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 生涯学習	基本施策 生涯学習を充実する	実施施策 生涯学習体制の充実	2031
	重点施策体系	重点施策 「人の増えるまち」づくり	分類(大) 健康と長寿の推進	分類(小) 生涯学習		833

PLAN(計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民ボランティアによるパソコン教室を開催し、パソコンの技術習得を支援する。				
	概要	生涯学習課直営事業として、神明公民館で初級者向けワード編・エクセル編・インターネット編のパソコン教室(各定員10人)を参加申込者がA(昼間)コースかB(夜間)コースのどちらかを選択してボランティア講師により実施する。 <small>ボランティア講師の数は、①2名②3名③4名④5名⑤6名</small>				
	法令根拠	<p>法令根拠</p> <p>実施形態</p> <p>現在 市直営</p> <p>内容 民間事業を補完する事業(高齢者を含む全ての初級者も対象)。</p>				

開始年度不明の場合は 0000
終了年度未定の場合は 9999

法令上、市職員が実施すべき根拠がある場合、根拠を掲載

現在の実施形態について、市直営や民間委託等から選択

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	パソコン講座の開催数		回	目標値	5	4	6	6	6
				実績値	8	3			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)		
	パソコン講座の受講者数		人	目標値	50	24	36		
				実績値	45	16			
	計算根拠	6人/回×4回の受講者を得る。		達成率(%)	90.0	66.7			
				ランク	B	C			
			実数値						

成果指標の目標値を達成するために
行った活動の結果
※数値化できない場合は設定困難

事業費/千円	区分	H23(2011)	H24(2012)	事業要員	正規職員		タイプ	会計	一般会計
	予算額	134	316		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	39			※所要時間	24		経費区分	物件費
	繰越額	0	0						

事業を実施して得られた成果の結果

達成率は目標値に対する実績値の割合
達成ランクはA：95%以上、B：80%以上～95%未満、C：80%未満
実数値は目標値・実績値が「%」表示の場合、分母分子(例：45/50)を入力

事業に従事する職員数を1年間の執務状況を換算して表示
[計算例]
2人の職員が1年の内2ヶ月間毎日、1日の半分の時間、当該事務事業の執務を行っている場合
2人×(2/12ヶ月)×(1/2日)=0.17人
※人数で示せない場合に限り、所要時間で表示(例：45時間)

事務事業調書の見方

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

O B J E C T I V E	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠 年間を通して問い合わせがある。	事業に対する市民ニーズが十分に あるかどうかの判断と根拠	
	必要性	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠 高齢者、全くの初級者がテキスト代だけで受講	行政が関与する必要があるかどうか の判断と根拠	
	効率・効果	【競争】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名	国や県、民間等におい て、同様の事業が行わ れていないかどうか	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠 所管課 事業名	本市の事務事業の中に目 的・概要が類似したもの がないかどうか	【廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 合は可能ですか。
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠 ボランティア講師による事業（パソコン教室）なのでこれ以上削減する余地がない。	事業に関する経費について、成果を低下させずに削 減する余地があるかどうかの判断と根拠	
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠 補助金等はない。また、受益者からはテキスト代のみ徴収して実施している。これ以上の財源確保は望めない。	事業の財源について、現在以上に特定財源を 確保する方法があるかどうかの判断と根拠		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠 広報さばえ等でボランティア講師を募集し、優秀な人材を確保する。	事業の目的達成に向けて、現在の水準以上に 向上させる余地があるかどうかの判断と根拠		

A C T I O N	【平成24年度 方向性】	維持	【平成25年度 方向性】	事務改善
	平成24年度 取組み	高齢者や全くの初級者でも受講できる制度を継続し、「ITのまち鯖江」の推進に寄与できるように関係課と連携して事業を実施していく。また、ワード、エクセルだけの講座だけでなく24年度から市民のニーズを踏まえながらインターネット関連講座も開設する。	平成25年 取組み	高齢者や全くの初級者でも受講できる制度を継続するが、市民ニーズを把握し、取り入れながら、また、「ITのまち鯖江」の推進に寄与できるように関係課と連携して事業を実施していく。

平成 25 年度の方向性（内部評価）

「事務改善」「内容拡大」「内容縮小」「維持」
「終了」「廃止・休止」「統合」から選択

【H25提案型市民主役オープン事業実施】						不可能	〈不可能選択理由〉 その他 市民主役事業として実施不可を選択
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)		
取組選択	-	可能	不可能	不可能	-		
実施状況	-	未実施	未実施				